



福島原子力事故関連情報アーカイブ

Fukushima Nuclear Accident Archive

Title	JESCO における調査研究・技術開発と今後の取組方針
Alternative_Title	Research and technology development and future policy of JESCO
Author(s)	松田 和久(中間貯蔵・環境安全事業) Matsuda, Kazuhisa(Japan Environmental Storage & Safety Corp.)
Citation	第 7 回環境放射能除染研究発表会要旨集, p.92 The 7th Workshop of Remediation of Radioactive Contamination in Environment
Subject	企画セッション：除染学会－JESCO ジョイントセッション「減容化・中間貯蔵・県外最終処分に向けた技術戦略」
Text Version	Publisher
URL	https://f-archive.jaea.go.jp/dspace/handle/faa/157525
Right	© 2018 Author
Notes	禁無断転載 All rights reserved. 「第 7 回環境放射能除染研究発表会要旨集」のデータであり、発表内容に変更がある場合があります。 学会は発表の機会を提供しているもので、内容に含まれる技術や研究の成果について保証しているものではないことをお断りいたします。



JESCO における調査研究・技術開発と今後の取組方針

中間貯蔵・環境安全事業株式会社 (JESCO)
中間貯蔵事業部次長 松田 和久

1. 中間貯蔵事業の現状

中間貯蔵事業は3年を経過し、除去土壌等の輸送量は、今年度は昨年度の3倍以上となる最大値180万 m^3 程度、来年度にはできる限り400万 m^3 程度とすることが目標となり、施設についても、受入・分別施設及び土壌貯蔵施設、廃棄物関連施設などの整備が急速に進展している。また、最終処分量の低減に資する減容・再生利用の実証事業も、南相馬の事業に加え、中間貯蔵施設区域内外で新たな事業が始まっている。

2. JESCO における中間貯蔵に関する業務

JESCO は、中間貯蔵・環境安全事業株式会社法において、国等の委託を受けて、中間貯蔵、福島県内除去土壌等の収集及び運搬を行うとともに、国の委託を受けて、これらの事業に関する情報及び技術的知識の提供並びに調査研究及び技術開発を行うこととされている。

この法律の施行以降、JESCO は、環境省からの委託を受けて中間貯蔵に関する業務を行ってきているが、中間貯蔵事業の進展に伴い、その業務は量的にも質的にも大きく変化している。平成30年度においては、環境省の工事発注支援や工事監督支援、中間貯蔵施設の管理に関して、入退ゲートの管理、スクリーニング施設の運営、施設の運営・管理、保管場、取得用地等の管理、情報センターの開設と運用、研究施設等の設置に向けた対応などを行い、輸送統括管理に関しては、総合管理システムの運用・改善、輸送統括管理、輸送車両の休憩施設の管理など、モニタリング・放射線管理に関しては、施設及び輸送路の放射線モニタリング、輸送路の環境モニタリング、作業場所の放射線モニタリング、放射線管理などを実施し、これに加え、技術的調査・検討、除去土壌等の減容等技術実証事業（公募内容を一部見直し）、技術開発戦略で優先的に実用化を図ることとされている除去土壌の分級実証試験に取り組んでいる。

3. JESCO における技術調査等の取組

技術調査等の観点からは、施設の工事が増加し稼働も始まる中で、現場で日々発生する技術的課題に迅速に答えを出していくとともに、輸送量の増加に向けて、中間貯蔵施設の総体について、合理的かつ効率的に事業が実施できるように運営管理を行うことが重要になっている。その一方で、環境省の「中間貯蔵除去土壌等の減容・再生利用技術開発戦略」に基づき、県外最終処分までを見据え長期的な視野に立った技術課題への対応が欠かせない。

このため、JESCO としても、中長期経営計画に加え、技術調査の中長期的な方針として、再生利用・減容化の促進、中間貯蔵の着実な推進、輸送量の急激な拡大への対応、技術情報の丁寧な発信という4つの柱を設定し、これを踏まえて、環境省の委託の下で、技術調査・検討等を実施することとしている。

平成30年度の技術的調査・検討業務では、実務的な各種技術的課題に対応するための即応性のある技術調査・検討、入退ゲートの管理の効率化、除去土壌の分級実証試験、除去土壌等の減容等技術実証事業、研究等施設の設置に向けた対応などに取り組むこととしている。なお、国立環境研究所等とは、研究協定(MOU)に基づいて、連携しながら調査を実施する予定である。

JESCO は、今後長期間にわたって継続して中間貯蔵施設の管理等に携わることとなる。その中で培われる現場ベースの知見をもとに、JESCO ならではの技術情報を丁寧に発信しながら、技術調査等に取り組んでいきたい。